

北星学園大学 後援会だより

VOL.136



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2019年3月15日
発行所 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011)891-2731
印刷 (社福)北海道リハビリ



人には人が必要

学長 大坊 郁夫



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。これまでの研鑽の結果がこの日につながったことを本学の一員として誇らしく感じています。また、ご家族、卒業生の皆さんに連なる多くの方々にお祝い申し上げます。さらに、ご父母の皆様には、後援会活動を通じて在学生、そして本学の教育・研究にご理解と多大なご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

人のつながりは案外に脆いようであり、意外に強いということも考えています。人の思いというのは、勝手気儘なもので、自分と同じ考えや同じ気持ちの人を安易に求めがちです。それは、あまり努力しなくても相手に自分を認めてもらえるので嬉しい。何かを一緒に決断する、行動するのにもあまり手間暇がかからない、楽だからです。しかしながら、この世の中には様々な人がいます。自分とは異なる特徴を持つ人の方が圧倒的に

多いものです。人によって育つ環境も経験することも様々です。お互いに歩み寄る努力なしに意見が一致することは少ないことを多くの人は感じているはずですが、年齢差のある者同士では、「異文化」といえる大きなギャップを感じるものであり、意識して相応の努力をしています。「人それぞれ」と言うのはたやすいことです。しかし、われわれは限りある資源の、限られた世界に共に生きていくのです。それぞれ勝手にするのは済まないことがあまりにも多くあります。どのようにかして、「一致」を求めなければなりません。社会の中にある個人だということを常に認識すべきなのです。人の世にあつて、自分が輝くためにも互いに満足できるように、他人をも照らす努力が必要です。勝手に作った「自分の」ルールがすべてではないこと、異なる背景の相手であつてもなにかを「理解し合える」はずの思いを持つことが大事です。そして、相手は自分にはないものを持っている、だから相手は必要なのだと視点は欠かせません。誰であれ、不足があるという思いは誰もが持っているからこそ、人が人を必要とするのです。

卒業式

後援会会長 深澤 秀則



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは「世にあつて星のように輝き」という建学の精神のもとで、130年有余の歴史と伝統を継承している北星学園の大学・短期大学部に入学しました。そしてライラックの花が咲き乱れる中庭と新築のC館、改修されたセンター棟など、学問の府にふさわしい、開学以来最高に教育設備の整ったキャンパスで、4年間あるいは2年間の学生生活を謳歌されました。様々な社会状況

を体験し、見聞し、多くの出会いや想い出を胸に、社会へ旅立つ時が来ました。皆さんは平成元号最後の卒業生となりますが、大学の第1回卒業式は大谷地の原野にたたずむ、雪に囲まれたプレハブ校舎で1964(昭和39)年3月に行われました。在学生の大半が式に出席し卒業生を祝福するなか、英文学科一期生(大学開学の編入3年)8名が卒業しました。式後は屋外で卒業生を囲んで、教職員の皆様、在学生も

一緒に卒業記念写真を撮りました。第2回卒業式は1965(昭和40)年3月に初めてチャペルで行われました。大学開学時の編入2年生だった社会福祉学科一期生10名と英文学科二期生11名、計21名が卒業しました。第3回卒業式は1966(昭和41)年3月に行われ、大学開学時の新入生だった英文学科三期生46名、社会福祉学科二期生44名、計100名がチャペルでの卒業式を終えました。年に一度の卒業式はこの年度で終わり、それ以降は9月卒業が加わり、年2回卒業式が実施されるようになって現在に至ります。式場もプレハブ校舎、大学チャペル、厚生年金会館(名称は変化)、そして今回より札幌文化芸術劇

これから卒業生の皆さんは、健康に留意することを第一に、与えられた責務を果たすよう、誠心誠意努力してください。北星学園で培った他人を思いやる気持ちや忘れることなく、人間性・社会性・国際性を備えた人間として、社会に貢献し、活躍することを願います。

保護者の皆様におかれましては息子さんやお嬢さんに対して、大学・短大在学中の物心両面のサポート、大変ご苦労様でした。また後援会活動に対して、ご支援とご理解をいただき、深く感謝申し上げます。

2019年度 大学行事予定

4月	1日(月)	オリエンテーション(～4月7日)	6月	7日(金)	体育祭(～8日)	10月	12日(土)	大学祭(～15日)
	4日(木)	定期健康診断(～6日)		29日(土)	第1回札幌地区父母懇談会(大学3・4年次、短大部2年次対象)		31日(木)	宗教改革記念講演会
	5日(金)	入学式	7月	29日(月)	前期授業終了	11月	2日(土)	第2回札幌地区父母懇談会(全学年対象)
	8日(月)	履修登録開始(～14日) 前期授業開始		1日(木)	『後援会だより』第138号発行 前期定期試験(～8月9日)		2日(月)	『後援会だより』第139号発行 クリスマス礼拝
5月	2日(木)	学園創立記念日	8月	24日(土)	旭川地区父母懇談会	12月	24日(火)	年内授業最終日
	13日(月)	スミス・ミッションウィーク(～17日)		25日(日)	北見地区父母懇談会		15日(水)	後援会第2回役員会
	15日(水)	後援会第1回役員会	31日(土)	帯広地区父母懇談会	1月	20日(月)	後期授業終了	
	25日(土)	後援会総会・懇親会	1日(日)	釧路地区父母懇談会		21日(火)	後期定期試験(～29日)	
6月	3日(月)	『後援会だより』第137号発行	9月	7日(土)	函館地区父母懇談会	3月	4日(水)	卒業生名簿発表
				8日(日)	苫小牧地区父母懇談会		12日(木)	卒業礼拝
				17日(火)	後期授業開始		13日(金)	卒業式
				30日(月)	前期末卒業式			『後援会だより』第140号発行

卒業生の言葉



プロジェクトリーダーを務めたイベントの集合写真(最前列中央が菅原さん)

お金で買えないこと

文学部 心理・応用コミュニケーション学科

菅原 悠矢

502万3,493円。これは、私立大学4年間の学費の平均だそうです。両親に援助してもらい、時には自分に

負荷をかけて、私達は大学に通ってきました。では、誰しものこの学費に見合うだけの対価を得ているのか。私は「NO」だと思います。何もなくても何かを与えてもらえると思っている人には、大学は何も与えてくれません。自ら積極的に学び、経験する気持ちがなければ何も得ることはできないと思います。

私は地方出身である自らの経験から、都市部と地方で進路意識や、年齢の近い人々との交流機会に格差があると感じていました。少しでもこの格差をなくしたいと考えた私は、「カタリバ」という大学生・専門学生が高校生と話をする活動を通し、地方の高校生と話してきました。そこで得られたのは貴重な経験とえがたい自信、なにより大切な仲間でした。私は4年間のうち多くの時間をこの活動に費やしてきました。卒業が目前に迫った今、もっと他にできたことがあったかもしれないと思うことがあります。しかし、後悔はありません。今だから胸を張って言えます。対価を十分得ることができた大学生活だったと。そして経済面でもサポートしてくれた両親に心から感謝しています。本当にありがとうございました。



部活の集合写真(鎌田さんは中段右から3番目)

かけがえのない仲間たち

経済学部 経営情報学科

鎌田 大樹

北星学園大学に入学してからの4年間を振り返ってみると、とても充実した時間を過ごすことが

できたと感じます。たくさんの人たちと出会えたこの4年間は私にとって大切な思い出です。中でもサークル活動の一環で所属していたアイスホッケー部での活動は思い出深いです。1年生の頃、先輩に声をかけられて何気なく入部したアイスホッケー部でしたが、部活動を通して人間的にも精神的にもとても成長することができたと思います。それは勝利という目標に向かって一緒に頑張ったかけがえのない仲間たちのおかげです。正直私が入部した頃のチームは、本当に弱くて勝てる雰囲気もありませんでした。しかし、この4年間で仲間たちと切磋琢磨し努力することによって、4年生のときには大会で優勝できるチームになりました。アイスホッケーは1人ではできないチームスポーツです。仲間がいたからこそここまで頑張ることができ、4年間を楽しむことができました。本当にありがとうございました。4月から社会人になりますが、この経験と北星学園大学で学んだことを糧にし、頑張っていきたいと思っています。



アルバイト先の仲間たちとともに(上段中央が矢野さん)

行動することの楽しさ

社会福祉学部 福祉臨床学科

矢野 満理奈

私はこの4年間で、コールセンターや居酒屋のホールスタッフ、

試飲の店員、アパレル店員など様々なアルバイトを経験しました。振り返ってみると、それらの経験によって自分が将来就きたい仕事について考え、理解し、選択することができたのだと思います。接客の仕事を経験したおかげで、「人と深く関わっていく仕事に就きたい」とやりたいことが明確になりました。その結果、就職活動も全力でやりきることができ、志望していた会社の内定をいただけました。

将来何をしたいかわからないと就職活動で悩んでる人は、少しでも興味のあるアルバイトをたくさん経験してみるべきだと思います。そうすると、どの仕事が自分に向いているか、続けていきたい仕事かなど見極めることができると思います。

また、アルバイトだけでなく、興味のあることに積極的にトライしてみることも大切だと思います。大学生活は自分がどんなことに興味があるのかなど、今後のために自分と向き合う大切な時間だと思うので、日々を無駄にせず様々なことを経験するべきだと実感しています。



新入生歓迎会の集合写真(最前列中央が池永さん)

2年間という短さだからこそその挑戦

短期大学部 生活創造学科

池永 美咲

幅広い知識を身につけることができる魅力あるこの学科に入学してから早2年。多くの方々に支えられながら、楽しく充実した日々を過ごしてきました。

2年間という短い期間で、何かに挑戦したい、自分を大きく成長させたいと思い、学生が学生をサポートする大学公認組織「北星ピア・サポーター」に入りました。そこでは新入生歓迎会、履修相談会、学科説明会などのイベントを行いました。中でも印象に残っているイベントは、新入生歓迎会です。ゲームの企画や景品の準備・参加者募集から当日の司会進行まですべて行いました。初めは準備期間が就職活動の時期と重なっており、なかなか思うように進みませんでした。しかし、他のメンバーとの連携や役割分担・準備スケジュール計画をしっかりと行ったことにより、スムーズに当日を迎えることができました。参加した1年生から、「とても楽しかったです!」「友達が増えました!」などの声をもらい、非常にやりがいを感じました。

この北星ピア・サポーターとしての活動で、「行動力」「先を見通す力」「実行力」等、様々な力を身につけることができました。この2年間で得た力を、社会に出てから活かしていけるように頑張りたいと思っています。

パイプオルガンコンサートのお知らせ

【Back to Bach～バッハへの回想～】

日時：2019年5月11日(土) 午後2時～ 会場：本学チャペル
第20代札幌コンサートホール専属オルガニストのシモン・ボレノ氏をお招きします。バッハの名曲の数々をどうぞお楽しみください。



電話、メール、本学ホームページ内申込フォームのいずれかでお申込みください。(右記QRコードより申込フォームにアクセスできます)

入場無料
要申込

申込先：同窓会事務局(社会連携課内)
TEL: 011-891-2731 メール: dousoukai@hokusei.ac.jp
申込期間：4月22日(月)～5月10日(金)



予定しています。次回役員会は5月15日(水)を

深澤秀則後援会会長、大坊郁夫学長よりそれぞれ挨拶をいただいたあと、事務局より地区別父母懇談会開催報告や後援会予算執行状況について報告しました。また、役員会終了後には懇親会を行いました。終始和やかな雰囲気が進められ、役員の皆様と親睦を深める場となりました。

1月16日(水)、ホテル札幌ガールズパレスにて第2回後援会役員会を開催いたしました。当日は事務局も含め43名の皆様にご出席いただきました。

2018年度 第2回 後援会役員会開催報告

2018年度就職状況

以下の就職内定先は、2月初旬時点のもので、3月の卒業時点ではもっと増えていることを期待しています。

現在、就職支援課では就職未決定の学生に対し、引き続き就職決定のためのサポートやアドバイスを行っています。最後まで諦めることなく、それぞれの進路を切り拓くことができるよう親身に支援をしています。(就職支援課)

2018年度就職内定先 (2019年2月1日現在)

大学

農林水産産業

- 歯舞漁業協同組合
- 北海道信用農業協同組合連合会
- ふらの農業協同組合 (2名)
- 日高軽種馬農業共同組合
- いわみぞり農業協同組合
- 十勝農業共済組合
- 新道農業協同組合
- きたみらい農業協同組合
- 更別村農業協同組合

建設業

- 岡本興行株式会社
- 株式会社家守リホールディングス
- 共同エンジニアリング株式会社 (2名)
- 岩田地崎建設株式会社 (3名)
- 川田工業株式会社
- ミサワホーム北海道株式会社
- 大和ハウス工業株式会社
- 北海道セキスイハイム株式会社
- 株式会社一条工務店 (3名)
- 株式会社つづけん
- 北電電気工事株式会社
- 永建工業株式会社
- 朝日エディック株式会社
- 株式会社ジョンソンホームズ
- 株式会社日本防災技術センター
- 西工建設株式会社
- 株式会社クワザワ工業
- ナブコシステム株式会社
- 株式会社北弘電社
- 大鏡キムラ建設株式会社
- 大岡舗道株式会社 (2名)
- 北星フレア株式会社 (2名)
- 株式会社アイテス

製造業

- 株式会社ホリ
- 日産製パン株式会社
- 日本食研ホールディングス株式会社
- 六花亭製菓株式会社 (2名)
- 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 (2名)
- 株式会社ロイズコンフェクト (4名)
- 株式会社ケイシイ (2名)
- くみあい乳業株式会社
- ヤマチユナイテッドグループ
- クラレプラスチック株式会社 (2名)
- 株式会社タカゾノ
- 株式会社ツムラ
- 株式会社エピア
- 株式会社アルビオン
- 積水化学北海道株式会社
- 北海道コンクリート工業株式会社
- 株式会社トリアス
- 株式会社鈴木商会
- シロカ株式会社
- 株式会社光合金製作所
- 株式会社カクダイ
- サンポット株式会社
- 株式会社電制
- 株式会社月寒製作所
- 三甲株式会社

新聞

- 株式会社北海道建設新聞社

印刷

- 株式会社恵和ビジネス
- 株式会社須田製版
- 凸版印刷株式会社
- 山藤三陽印刷株式会社
- 札幌大同印刷株式会社
- 株式会社プリプレス・センター

卸・小売業

- セイコーリテールサービス株式会社
- ピーエー・ジャパン株式会社
- 株式会社FTG COMPANY
- 株式会社エイチケイアール
- 株式会社ハイブリッジ・ジャパン
- 帯広地方卸売市場株式会社
- サッポロウシマコーヒー株式会社 (2名)
- 株式会社アレア
- 大橋製材株式会社 (8名)
- 株式会社ナノオ
- 北海道酒販販売株式会社
- 丸水札幌中央水産株式会社
- 東日本フード株式会社
- 石屋商事株式会社
- 株式会社丸千代山岡家
- 森永乳業北海道株式会社
- 日本ハム北海道販売株式会社 (2名)
- 株式会社西原商会
- 青山商事株式会社
- ゼオビ株式会社
- 株式会社キャン
- 株式会社ユナイテッドアローズ
- 株式会社インファーマシーズ
- 株式会社ツルハ
- 株式会社PALTAC
- 株式会社丹波屋
- 株式会社あらた
- 株式会社モロコ
- 株式会社サッポロドラッグストア
- 株式会社インホームディングス
- 株式会社スズケン
- 株式会社北海道保健企画
- 株式会社サンドラッグプラス
- 森川産業株式会社
- 株式会社ラネット
- 株式会社国分電機
- 株式会社カノモト (2名)
- キヤノンシステムサポート株式会社 (2名)
- トヨタ部品北海道共販株式会社 (2名)
- 富士セロックス北海道株式会社 (2名)
- ホンザキ北海道株式会社 (2名)
- 株式会社松井
- 株式会社ムトウ
- 渡辺パイプ株式会社 (2名)
- 株式会社竹山 (3名)
- ナラサキ産業株式会社
- 岩崎電子株式会社
- 株式会社鉄建
- 石垣電材株式会社 (4名)
- ヤママーアグリジャパン株式会社
- 株式会社ヨドバシカメラ
- 株式会社テレ・マーカー

- 株式会社ネオコーポレーション
- 株式会社エムデジ
- 株式会社NKインターナショナル
- アイ・ティー・エックス株式会社
- 株式会社テオホールディングス
- 株式会社ニトリ
- 株式会社クワザワ
- 潮物株式会社
- 株式会社ウェルネスフロンティア
- 株式会社ドン・キホーテ
- 株式会社馬里奈
- 株式会社SPGホールマン
- 株式会社テレモーション・マックス
- 株式会社フォーミュレーション (3名)
- 日本放送協会
- 株式会社札幌映像プロダクション
- 株式会社ジュビターテレコム(JCOM)
- 株式会社NTT東日本-北海道

放送・通信業

- 株式会社エア・ウォーター物流株式会社 (3名)
- 吉小牧埠頭株式会社 (2名)
- 東札幌日通運輸株式会社 (2名)
- 日立物流ダイレックス株式会社
- 株式会社JALスカイ (2名)
- 三菱電機ロジスティクス株式会社 (2名)
- 株式会社ロジネットジャパン (2名)
- 株式会社ホームロジスティクス

電気・ガス・水道

- 株式会社江上
- 北ガスエネクス株式会社 (2名)
- 旭川ガス株式会社 (2名)
- 吉小牧ガス株式会社

広告・宣伝

- クレイテプス株式会社
- 株式会社キョウエイアドインターナショナル
- 総合商研株式会社 (2名)
- 株式会社ニトリパブリック
- 株式会社日本広告社
- 株式会社ネクシーズ
- 株式会社北海道アルバイト情報社 (2名)

サービス一般

- キングラン北海道株式会社
- 株式会社エフブレイン
- 株式会社オプティ
- 株式会社ノースジニアス
- 株式会社コムマツリタアメントコミュニティ
- 朝日新聞札幌中央販売株式会社
- 株式会社トヨタレンタリース新札幌 (2名)
- 大和リース株式会社
- 株式会社レントルのニッケン
- 株式会社ディステリア京東
- グローバルエンターテイメント株式会社
- ほくでんサービス株式会社
- 株式会社東急コミュニティ
- 株式会社ミュゼプラチナム
- 株式会社フロンティア
- 株式会社マルベリー
- 株式会社KKG情報
- 株式会社KSP-EAST

情報処理業

- JIG-SAW株式会社
- アクセンチュア株式会社
- 株式会社インターパーク
- 株式会社JIEC
- 株式会社WIZ
- 株式会社エクサネットHAL
- 株式会社ティエム2
- 株式会社ハロネット
- 株式会社リベル・エンタテイメント
- 株式会社アルファシステムズ
- 日本システムウェア株式会社 (2名)
- 株式会社HDC
- 株式会社HBA
- 中央システム株式会社
- 株式会社北海道ジェイ・アール・システム開発
- 株式会社TECソリューションズ
- 日本SE株式会社 (4名)
- 日本アイ・ビー・エム・ソリューション・サービス株式会社
- イーサポートリンク株式会社
- 株式会社ルーセントスクエア
- 株式会社ソフトコム
- 株式会社うつけいアドバンスシステムズ
- 株式会社NDPマーケティング (2名)
- 北洋システム開発株式会社 (2名)
- 株式会社ホープス
- 株式会社アミクス
- パーソルプロセス&テクノロジー株式会社

専門サービス業

- 株式会社EXECUTE(エクスキュート)
- 株式会社PMG
- 株式会社GSI
- 株式会社LIFE CREATE
- 株式会社アイデンティティ
- 株式会社ウェルネスフロンティア
- 株式会社エスフルロジスティクス
- 株式会社子ども保育環境研究所
- 株式会社ジョブス
- 株式会社リンクアンドモチベーション
- 株式会社フンストウウォッチ
- 株式会社安井測量設計事務所
- 株式会社吉岡経営センター
- 池畑会計事務所
- 株式会社リクルートスタッフィング
- 日本ATM株式会社
- 株式会社東名
- 日本郵便株式会社 (10名)
- 株式会社グットコムアセット
- ディップ株式会社
- 株式会社タスク・フォース
- 株式会社ワールドインテック
- 株式会社エイジック (2名)
- 東京海上自動車サービス株式会社
- 株式会社キャスト (2名)
- 株式会社ベイロー
- SATO社会保険労務士法人
- 株式会社KDDIエボルバ
- ふたば理理士法人
- 株式会社マキキュリー
- 株式会社TTM
- 株式会社アウトソーシング

観光・興行・娯楽

- ルートインジャパン株式会社
- 株式会社ACEトラベル
- 株式会社ハマノホテルズ
- 株式会社フリープラス
- 株式会社ワールド航空サービス
- 株式会社施工工房
- 野口観光株式会社
- 東武トップツアーズ株式会社
- 株式会社日本旅行北海道
- 株式会社オリエンタルランド
- 株式会社正栄プロジェクト
- 株式会社エイチ・アイ・エス
- 株式会社コシダカ

- 株式会社エス・ティー・ワールド
- 株式会社JTB札幌ビジネスセンター (3名)
- 株式会社四季の旅
- 株式会社近畿日本ツーリスト北海道 (2名)

医療・保健

- 公益社団法人北海道労働者医療協会 (5名)
- 社会医療法人中村記念病院 (2名)
- 医療法人社団翔徳園 (4名)
- 医療法人新産健会

非営利団体

- 北海道市町村職員共済組合 (2名)
- 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 (3名)
- 日本赤十字社北海道支部
- 北海道国民健康保険団体連合会
- 公益財団法人北海道農業公社 (3名)
- 日本年金機構 (2名)
- 独立行政法人国立病院機構 北海道東北グループ (2名)

教育

- 学校法人北星学園 (5名)
- 練成会グループ (2名)
- NOVAホールディングス株式会社
- 北海道地区国立大学法人等職員
- 学校法人北星学園大学

公務員・公立学校教員

- 自衛隊(自衛官候補生)
- 国税専門官
- 裁判所職員(家庭裁判所調査官補)
- 航空管制官
- 国家公務員(一般職) (12名)
- 財務専門官
- 裁判所職員(裁判所事務官)
- 警視庁警察官
- 七飯町職員
- 新冠町職員
- 北海道職員(一般行政) (7名)
- 北海道職員(教育行政) (4名)
- 北海道職員(警察行政) (3名)
- 北海道職員(公立小中学校事務) (2名)
- 北海道職員(寄附金指導員)
- 札幌市職員(一般行政)
- 札幌市職員(学校事務)
- 札幌市職員(行政コース) (4名)
- 札幌市職員(福祉コース) (7名)
- 北海道警察官
- 旭川市職員(社会福祉) (3名)
- 帯広市職員
- 留萌市職員
- 吉小牧市職員 (3名)
- 美瑛市職員
- 富良野市職員
- 登別市職員
- 恵庭市職員
- 伊達市職員
- 北広島市職員
- 公立学校教員(札幌市) (6名)
- 公立学校教員(北海道)

その他

- 札幌商工会議所
- 恵庭商工会議所
- 社会医療法人至仁会 圏央所沢病院
- 名寄市立総合病院
- 医療法人研仁会 札幌太田病院
- 医療法人勉仁会 中垣病院
- 医療法人社団五稜会病院
- 日本赤十字社伊達赤十字病院
- 社会医療法人友愛会 恵愛病院
- 公益社団法人北海道労働者医療協会
- 医療法人団のすずらん会 江別すずらん病院
- IMSグループイムス札幌消化器中央総合病院
- 医療法人社団養生館 吉小牧日翔病院
- 戸田中央医療グループ
- 社会福祉法人北海道光生舎 (4名)
- 社会福祉法人富良野あひろ
- 社会福祉法人はるのれり
- 社会福祉法人札幌報恩会
- 社会福祉法人白老宏友会
- 社会福祉法人妻の子会
- 社会福祉法人人権の会
- 社会福祉法人HOP
- 社会福祉法人募集者協会
- 社会福祉法人メテ福祉会 (2名)
- 社会福祉法人緑陽会
- 社会福祉法人ほくろ福祉協会
- 医療法人研仁会介護老人保健施設 セージュ山の手
- 社会福祉法人栄和会
- 株式会社さくらコミュニティサービス
- 株式会社健康倶楽部
- 社会福祉法人南東北福祉事業団
- 社会福祉法人協栄会 デイサービスセンター 清洋園
- 一般社団法人子供と青い空 児童デイサービス かわせみの森
- 社会福祉法人カリタスの園
- 社会福祉法人札幌育児園
- 社会福祉法人羊ヶ丘養護園 (2名)
- 合同会社と ことみデイサービスセンター和
- SOMPOケア株式会社
- 株式会社MELEVER
- 社会福祉法人北海道社会福祉事業団
- 社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 社会福祉法人砂川市社会福祉協議会
- 社会福祉法人紋別市社会福祉協議会
- 社会福祉法人津別市社会福祉協議会
- 社会福祉法人ゆうゆう
- アースサポート株式会社
- 株式会社学研コソファン

社会福祉施設関係

- 社会福祉法人至仁会 圏央所沢病院
- 名寄市立総合病院
- 医療法人研仁会 札幌太田病院
- 医療法人勉仁会 中垣病院
- 医療法人社団五稜会病院
- 日本赤十字社伊達赤十字病院
- 社会医療法人友愛会 恵愛病院
- 公益社団法人北海道労働者医療協会
- 医療法人団のすずらん会 江別すずらん病院
- IMSグループイムス札幌消化器中央総合病院
- 医療法人社団養生館 吉小牧日翔病院
- 戸田中央医療グループ
- 社会福祉法人北海道光生舎 (4名)
- 社会福祉法人富良野あひろ
- 社会福祉法人はるのれり
- 社会福祉法人札幌報恩会
- 社会福祉法人白老宏友会
- 社会福祉法人妻の子会
- 社会福祉法人人権の会
- 社会福祉法人HOP
- 社会福祉法人募集者協会
- 社会福祉法人メテ福祉会 (2名)
- 社会福祉法人緑陽会
- 社会福祉法人ほくろ福祉協会
- 医療法人研仁会介護老人保健施設 セージュ山の手
- 社会福祉法人栄和会
- 株式会社さくらコミュニティサービス
- 株式会社健康倶楽部
- 社会福祉法人南東北福祉事業団
- 社会福祉法人協栄会 デイサービスセンター 清洋園
- 一般社団法人子供と青い空 児童デイサービス かわせみの森
- 社会福祉法人カリタスの園
- 社会福祉法人札幌育児園
- 社会福祉法人羊ヶ丘養護園 (2名)
- 合同会社と ことみデイサービスセンター和
- SOMPOケア株式会社
- 株式会社MELEVER
- 社会福祉法人北海道社会福祉事業団
- 社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 社会福祉法人砂川市社会福祉協議会
- 社会福祉法人紋別市社会福祉協議会
- 社会福祉法人津別市社会福祉協議会
- 社会福祉法人ゆうゆう
- アースサポート株式会社
- 株式会社学研コソファン

放送・通信業

- エイチ・テレビ映像株式会社

広告・宣伝

- 株式会社ネクシーズ

サービス一般

- ワタベウェディング株式会社
- 北海道リース株式会社
- 株式会社トヨタレンタリース札幌
- 株式会社スタジオアリス
- 株式会社札幌北洋リース
- ALSOKグループ(ALSOK北海道(株)) (2名)
- 情報処理業
- トランスコスモス株式会社
- 株式会社セラク
- 西鉄アサービス株式会社
- 株式会社ウイングテック(ウイングテック留学センター)
- 株式会社GICコンサルティング
- 株式会社ジェイエスエス
- 日本郵便株式会社 (3名)
- 株式会社ベネッセスタイルケア
- 株式会社エイジェック
- 株式会社キャスト
- WBFリゾート株式会社 (4名)
- 株式会社スロージャ
- 北海道連運サービス株式会社

観光・興行・娯楽

- 十勝ゲレンデホテル
- ルートイングループ(ルートインホテルズ) (2名)
- 株式会社法華倶楽部
- 新和グループ
- トーホウリゾート株式会社
- 株式会社プリンスホテル
- 株式会社北海道ジェイ・アール・サービスネット (3名)
- 株式会社JTB札幌ビジネスセンター (2名)
- HTM株式会社(北海道ツーリズムマネジメント(株)) (2名)
- 株式会社碧雲ホテル&リゾート (2名)
- 医療・保健
- 札幌臨床検査センター株式会社
- 医療法人新産健会
- 浜坂波フ科
- 非営利団体
- 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 財団法人札幌市交通事業振興公社
- 教育
- NOVAホールディングス株式会社 (5名)
- 公務員
- 岩見沢市職員
- 社会福祉法人 北海道光生舎

短期大学部

- 農林水産産業
- 北海道漁業協同組合連合会 (2名)
- ホクレン農業協同組合連合会 (3名)
- 建設業
- 株式会社ウディックラフト
- 北海道セキスイハイム株式会社
- 製造業
- 石屋製菓株式会社
- 株式会社朝月
- 株式会社きのとや
- 株式会社ヤクルト本社

イマドキの大学図書館

学習スタイルやニーズの変化にそって
図書館も変化を遂げています

図書館では、毎年、後援会から図書（後援会文庫）を寄贈していただき、それらを排架する書架や展示台、DVDプレーヤーの設置につきましても多大なご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

図書館に求められるものが「本」と「静寂さ」だけではなくなくなってから久しく、40代半ば以上の方々から見ると図書館の環境はかなり様変わりしているはずですが。授業に関連した蔵書、自習場所の整備は図書館機能の基本ですが、文献の検索手段と電子ジャーナルをはじめとする資料形態の変化は大きく、いつの頃からか館内にはパソコンが何台も設置されるようになりました。また、アクティブラーニングやグループワークといった学習スタイルの変化には「話せる学習エリア」を設け、会話をしながらの利用が当たり前になっています。もちろん静謐な空間も確保してのことです。

さて、そんな図書館を学生たちはどのくらい利用しているのでしょうか？

全国的な傾向として残念ながら入館者数、貸出冊数は減少気味ですが、それでも1日の平均入館者数は840人（2017年度統計）、試験期は1,000人を超える日があります。学習する場所、授業時間以外を過ごす場所として最も多く利用されているのは、今も昔も図書館であることに変わりはありません。

また、学生1人当たりの年間貸出冊数は全国平均を上回る9冊ですが、昨年導入した自動貸出機が学生にとっては「借りやすさ」を生み、読書意欲を向上させる期待があります。充実した資料予算に支えられて蔵書冊数も60万冊を超え、学習や読書要求に応える満足度の高い図書館です。

ご父母の皆様にも是非一度、「最近の大学図書館」をご体験いただきたいと思います。
(利用方法は図書館ホームページをご参照ください)

司書課 宮川 淳子



マルチメディアフロアにはパソコンが28台
このほかに貸出ノートパソコンもあります



グループワークは「話せる学習エリア」で



セルフで手続きするためプライバシーが守られる自動貸出機

後援会文庫

後援会では下記の図書・DVDを大学に寄贈しました。

図書

フェルメール全作品集
モダニスト・キュイジーヌアットホーム：現代料理のすべて
万引き家族
沈黙のパレード
ファーストラヴ
思い出が消えないうちに

DVD

関ヶ原
レインツリーの国
ハン・ソロ：スター・ウォーズ・ストーリー
リメンバー・ミー
Destiny 鎌倉ものがたり
久石譲 in 武道館：宮崎アニメと共に歩んだ25年間



2019年度 後援会行事のご案内

総会・懇親会

5月25日(土)	北星学園大学校舎
----------	----------

地区別父母懇談会

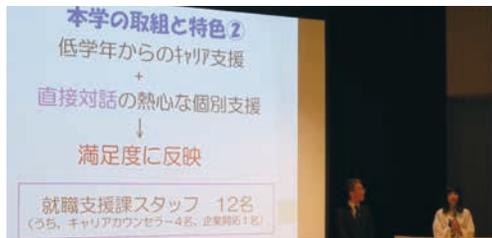
6月29日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎 (大学3・4年次、短期大学部2年次対象)
8月24日(土)	旭川会場	アートホテル旭川
8月25日(日)	北見会場	ホテル黒部
8月31日(土)	帯広会場	ホテルグランテラス帯広
9月1日(日)	釧路会場	釧路プリンスホテル
9月7日(土)	函館会場	フォーポイントバイシェラトン函館
9月8日(日)	苫小牧会場	グランドホテルニュー王子
11月2日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(全学年対象)

※学生本人を同席させての三者面談は父母懇談会の趣旨から行っておりません。
※面談順は当日お知らせいたします。
※準備の都合上、個別面談の担当がゼミの担当教員とは限りませんのでご容赦ください。

総会・懇親会

2019年度の総会・懇親会を5月25日(土)に大学にて開催いたします。総会では後援会事業における活動報告・決算や活動方針等を審議いたします。

また、総会終了後には、就職講演会とキャンパス見学、懇親会を行う予定です。特に年に一度のキャンパス見学はお子様の大学生活をより身近に感じられると好評です。ぜひこの機会に大学に足をお運びください。懇親会には教職員も参加いたします。



総会後の就職講演会にて(就職活動中の在学生とのディスカッション)



懇親会の様子

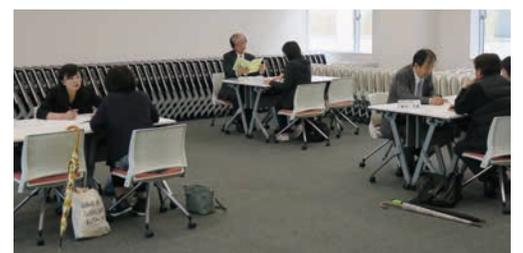
地区別父母懇談会

2019年度の「地区別父母懇談会」開催日程は左表のとおりです。

懇談会では全体説明のあと、お子様の修学状況、学生生活状況及び就職活動関係の個別面談を実施いたします。前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」や「授業科目別出席状況」などを個別にご用意し、担当教員から説明を聞くことができます。参加された皆様からは毎年たくさんの好評の声をいただいています。ぜひお気軽にお申込みの上、ご出席ください。



昼食の様子(旭川)



個別面談の様子(10月札幌)

北星学園大学 教育振興寄付金で芳名

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

2018年11月1日から2019年1月31日まで (敬称略)

〔寄付〕 ☆大学・短期大学部 (父母、同窓生、一般、旧教職員、理事、教職員)

蒲 弘城 藤枝健一郎 羽毛田常治 山崎 浩二 早坂 真人
株式会社嘉時 フォトンM&Eソリューションズ株式会社 代表取締役 八木 秀忠
上野 武治 永井 信夫 大山 綱夫 大坊 郁夫 竹内 禎哉
佐藤 修子 谷 さつき

あとがき

卒業生の皆様、ご家族の皆様、卒業おめでとうございます。在学中は温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。(後援会事務局 山下)

新年度に入りましたら、「総会・懇親会」「地区別父母懇談会」について文書及び大学ホームページにてご案内いたします。